

平成 27 年 12 月 21 日（月）午後 2 時～2 時 50 分

於：光が丘図書館視聴覚室

図書館長会（12 月）記録

1 光が丘図書館長挨拶

明日はもう冬至である。暖冬であることもあり、年末という雰囲気はない。今年も 10 日余りであるが、今年も様々な事業等していただき感謝申し上げます。

また、各館ともそうであると思うが、様々な利用者がいた。私もいろいろな人とお話をさせていただいた。

図書館のことを振り返ってみると、大きなこととしては、5 月に大泉学園駅受取窓口を開設した。また 9 月には第三次子ども読書活動推進計画を策定した。

また、この頃のことではあるが、本の福袋についてである。マスコミに向けてのアピールにより、数多くの新聞社にご紹介いただいている。読売、東京、日経。あしたはフジテレビに出る。また、JCOM や TBS ラジオでも取り上げられる予定。例年、地道な活動を各館に行っていたという結果であるが、パブリシティの仕方によっては、さらに PR できることになる。大変うれしく思っている。

また、その他様々な課題について、来年も引き続きお願いする。各館長の皆さんもゆっくり体を休めてほしいが、酒の会については気を付けていただきたい。まだ、少し早いですが、年末の挨拶とさせていただく。

2 報告・連絡事項

(1) 管理係報告（資料 1）

① 教育委員会等の案件 資料のとおり

ア) 第 22 回教育委員会定例会（11 月 19 日）

平成 27 年度教育に関する事務の管理等に係る点検・評価について

練馬区教育基本計画に記載されている子どもの読書活動の推進について、数値等を示し、評価をしたものである。

イ) 文教児童青少年委員会（11 月 24 日）

陳情第 34 号

学校司書を学校直下に配置してほしい等について。まだ審議には入っていない。

ウ) 第四回練馬区議会定例会（11 月 27 日）

一般質問で、公明党から「読書活動の推進について」という項目で、7 つほどの質問が出た。

i まちライブラリーについて ii 受取窓口について（増やしてほしい、開設時間を見直してほしい iii 書籍消毒機器について iv デジタル化（デジタルサイネージを含む）について v ビブリオバトルについて（学校でもやってほしい） vi ベビーカーの配置について vii セカンドブックについて

いずれも研究検討していくとしている。

エ) 文教児童青少年委員会（12 月 3 日）

平和台の指定管理者について指定の議案と、陳情第 38 号の付託が行われた。

② 図書館関係苦情・相談、広聴回答（11月分） 資料のとおり

広聴番号 2739「図書館の閲覧コーナーについて」。ホームレス問題である。参考送付扱いだが、広聴広報課からどのような対応をしているか確認があった。他の利用者への迷惑行為となる場合は注意する旨伝えた。各館においても引き続き対応をよろしくお願いします。

他館の分も参考になるので目を通して、職員全員に周知願う。

③ 平成 28 年度特別館内整理期間（案）について 資料のとおり

配付資料のとおり提案させていただく。事前の提示からは、光が丘・練馬・平和台について日程が変わっている。なお、昨年度に比べて、利用者アンケートの時期を若干早めているので注意されたい。日程に関しては以上で問題ないか。⇒了承

④ 各館の電気使用状況について 資料のとおり

参考資料としてお目通しいただきたい。

⑤ 会議室の利用について 口頭報告

1 時間単位利用の新申請書を 18 日金曜日にメール便で送付した。なお、エルシエロの会議室入力について、自館利用の件数入力が 1 月から加わるのでよろしくお願いします。

目的外利用の件数カウントについて、同日に間をあけて利用する場合は、複数回と数えるので注意されたい。後程メールでご案内する。

⑥ 利用者アンケートについて 口頭報告

昨日 12 月 20 日までアンケート期間だった。実施について協力ありがとうございました。1 月 15 日までに各館からの提出をよろしくお願いいたします。

⑦ 生涯学習団体名簿等の取り扱いについて

同名簿について大泉学園町体育館で紛失があった。引き続き取り扱いに注意されたい。

(2) 運営調整係報告 なし

(3) 事業統括係報告

- ・12 月 8 日に「本の福袋」のパブリシティを行ったところ、かなりの反響があった。読売新聞のコラムにも引用されている。

- ・ねりま区報の記事の縮小について、広聴広報課から相談があった。図書館の記事について現在の半分程度の本数にしてほしいとのことだった。事業統括係としては、各館からは今までどおり希望は出してもらおうが調整はさせていただきたいと考えている。（練馬図書館長）

事業を行った場合、何で事業を知ったかというアンケートをとると 8 割の方が区報とのことである。今迄通りぜひ載せてほしい。

（管理係長）

厳密に仕切りを作って取り扱うことは厳しいが、今後相談調整させていただく。

- ・利用者とのトラブルについて。現在の条例・規則が法律の規定にそぐわないと思われる

るものが2つあり、検討を要する。

①資料の弁償について

貸出し資料の紛失について、現在は同じものを弁償、ない場合は同種の代替資料を用意していただくこととしているが、区の弁護士と相談したところ、現金で弁償したいと言っている場合に断ることは問題があるとの認識であった。ただし例外としては、利用登録の際に弁償方法を詳細に周知するか、カウンターに掲示して周知するか、広範囲な周知が必要であるとのことだった。

今後DVD貸出が始まるにあたり、整理が必要であり、今年度中に決めていきたいと考えている。

②中学生の保護者による代理利用登録について

多忙な中学生の利用登録を保護者が来館し利用登録する場合、小学生は不要だが、中学生以上は委任状を必要としている。マニュアルで定まっていることだが、民法上要求することは難しい。弁償のルールとともに見直すまでの間、各館においては柔軟に対応されたい。

(4) 子供事業統括係報告 なし

(5) 各館から（口頭）

石神井図書館長から

ぬいぐるみお泊り会について。フォトブックの作成等非常に手間がかかる。ただし、募集開始時刻から13分で満員になるという超人気ぶりである。ただし、定員が10名程度という非常に恩恵を被る人が少ない事業であり、費用対効果に疑問を感じる。だが、国会図書館でも親子関係の構築に有効だと言っていることもあり、すでに実施している館や今後実施予定の館から、ご意見や感想、アドバイスなどがあれば教えていただきたい。

《貫井》

今までに、昨年度と今年度の2回実施した。昨年度相当手をかけたので今年は簡略化し、フォトブックは4ページとした。子どもの反応はとてもいい。私もびっくりした。いい事業だと思うので、簡素化してでも続けていきたい。

《稲荷山》

手間はかかる。今年度やらなかったら、利用者アンケートにやってほしいとの声があがった。預かる期間を長くして実施していきたいと考えている。

《大泉》

「ぬいぐるみとおはなし会」を先に30人で行い、その後10人で「お泊り会」を行った。写真をコピーして切って台帳にはるという方法を取り、パソコンでの編集はなく済んだ。

《小竹》

昨年度行った。業務の間を縫ってフォトブックの作成などを行うので大変だった。稲荷山でも言っていたが、預かり期間を長くしてやれば大丈夫かなと思っている。個人的には事業に対する違和感はあったが、反響はすごいと感じた。

《こどもと本のひろば》

2回実施した。2回目は子供だけでなく、大人からも申し込みがあった。3日という短期間で実施している。反響がとてもよく、子供も喜んでいるので、今後も続けていきたい。

《石神井》

個人的には楽しい事業だが、費用対効果が少ない。利用者への公平性の観点からも疑問があるか。図書館の利用者や貸出点数の増や、図書に親しむ人の増につながっているかは疑問。またPRが難しい。大勢の方が来ても困る。10組が限度。

ただし、今後も他館のやり方を参考にして、続けて実施していこうと考えている。

《 次回は1月18日（月）午後2時から 》